



## 模擬試験の活用法について

1・2年生は1週間ほど前に進研記述模試を、3年生はこの1ヶ月で記述模試を2回もしくは3回、マーク模試を1回受験しました。今回は、模試の活用法について考えてみたいと思います。まずは、次の文章を読んでみてください。

たとえば、特別大きな塾もないような田舎から東大に合格するような子というのは、自分の力で着実に「意味のある勉強」をやっています。

これに対して、都会で中途半端に塾通いしているだけの子は「意味のない勉強」しかしていません。

意味のない勉強というのは、とりあえず先生からこれがいい、あれがいい、と問題を与えられて、それを漫然と解いていくだけ、という勉強法です。

特に問題なのが、「できなかった問題」についてなにもフォローすることもなく、そのまま通り過ぎていってしまうことです。

模試についても、間違っただけの問題について「なぜ間違っただけなのか」や「どの時点で間違っただけなのか」を考えようとしない。ただ、B判定とかD判定とか、そんな数字に一喜一憂する。

そうすると、模試で間違っただけと同じような問題が入試に出たときに、やはり同じように失敗してしまうんです。

だから、間違っただけの問題についての復習システムをちゃんと身につけていけば、学力は目に見えて向上しますね。

勉強のポイントは「できなかったことを、できるようにする」ことなんです。

学校でも、たとえば今月は方程式をやって、来月は関数で、といった感じでどんどん先に進んでいきますよね。そうすると「方程式でできなかったこと」は、そのまま置き去りにされてしまうんです。これでは学力なんてつくはずありませんよね。

勉強は自分のペースでいい。とにかく「できなかったこと」を徹底してやる。できるようになるまでやりつくす。足は遅そうに見えるかもしれないけど、これが一番確実な近道なんです。

模試に限らず、ふだんの授業や定期考査についても上の文章はあてはまると思います。模試は、以前の定期考査などでできていた問題ができていないか、違った視点から出題されている応用問題に対応できているかなどをチェックできる良い機会です。では、できなかったことを復習するノートには、どんな工夫をしたらよいのでしょうか。上の文章の続きに、こんな方法が紹介されています。

もっとも、ただ「できなかったこと」を解きなおすだけではいけません。

そこで、これからは「できなかった問題」について、こんなノートをつくってみてください。ノートを構成する要素は次の4つです。

- 1 問題…できなかった問題はどんな問題か
- 2 解答…正しい解答はどんなものか
- 3 できなかった理由…なぜ自分はなぜこの問題ができなかったのか
- 4 この問題のポイント…この問題のポイントはどこか。今後の教訓は何か。

この基本形をベースに、マーカーで色分けしたり、定規で線を引いて区切ったり、自分なりのノートをつくってみてください。最初はうまくいかなくてもかまいません。特に、「できなかった理由」と「この問題のポイント」については、先生にアドバイスを仰ぎながら書いていけばよいでしょう。

**大切なのは、問題をやりっぱなしで終わらせないことです。**

引用先：ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書 なぜ学び、何を学ぶのか

授業・宿題・模試など忙しいなかですが、一つ一つを大切に、それぞれうまく活用して自分の力に変えていけるよう、粘り強く取り組んでいきましょう。

## 未来に思いを馳せる講演会(講師:山元賢治さん)の感想文紹介その2

この講演を受けて、自分が悩んでいることや、見ていることがとてもちっぽけでくだらないなと気づいた。僕が思っている以上に世の中は広く、知らないこと分からないことが多い。特に印象的だったのが、「変わり続ける」ということだ。僕は今回の話を聞いて変わることができた。次は聞いた話をもとに、考えや行動などを更新してよりよくする必要がある。常に変化し続け、自分にも他人にも良い影響を与えるようにしていきたい。

(1年男子)

短い時間の中でたくさんの事を吸収できました。私は改めて好奇心の力は強いなと思いました。好奇心をもたないことには考えること、集中したり、仲間と競争したり、失敗を経験することもできず色々なことにつながっていかないなと思いました。だから、今している勉強や好きなことにもっと好奇心をもって行動したいです。あと、心に留めておきたい言葉があります。それは、face to faceです。私もメールに頼って、面倒くさがってしまうことが多々あるので、しっかり伝わるように、また、自分が社会に出たときのために今のうちから心がける努力をしようと思いました。今日あったことを忘れずに、早速できることは実行していきます。とても、いい機会になりました。

(1年女子)



自分の未来を壊しているのは、自分自身であるということに背中をたたかれたような衝撃を受けました。思えばたしかに苦手だなあということから逃げたり、ついつい楽な道を選んでしまったり、自分で自分の可能性を縮めていっていることに気づきました。大事なのは自分の強い気持ちを考えること！！どうせやるならいやいやするよりも楽しみながらしたほうがいいに決まっていますよね！山元さんの話を聞いて自分の将来についてより深く考えるきっかけになりました。本当にありがとうございました。是非また、山元さんにお会いしたいです。とても刺激的な一日でした。

(2年女子)



今日この話を聞いて、改めて一生勉強しようと思いました。今の勉強もいつか将来の役に立つと思い、また、いらぬ教科なんてないと思いながら行動しようと思いました。そして、何事にもあきらめないようにしたいです。そして、何か一つでも同級生で1番になりたいと思いました。そのためには、1日1時間究極に集中する時間を是非作ろうと思いました。私にはなりたいた人が沢山います。誰か一人なんて選ばません。ですから、話の中でもあったように、それぞれの人のいいところ取りをしたいと思います。私も将来仕事がバリバリできる人になりたいので、きつくて苦しくても、乗り越えていきたいと思います。

(3年女子)